



新日本スポーツ連盟

【練馬区連盟】

40 年のあゆみ

| 社会の動き・練馬区の動き | 練馬区連盟の活動 |
|---|---|
| 9●グラントハイツ返還 10●第1次石油危機 | ●結成前● 全国連盟は、地域で連盟組織を作る方針を決定。都連盟は特別体制を作り役員を配置。(重点区は練馬区、中野区) |
| 20●ロッキード事件 | ●「練馬区連盟」結成(6/20) やじろべえテニスクラブ(軟式)の呼びかけで練馬区労協ほかスキー協などの協力者参加で結成。結成総会で選出した理事長が諸般の事情にて途中降板。 |
| | ●「練馬勤労者スポーツ祭典」練馬区労協との共同で実行委員会に参加 祭典種目実施：軟式テニス、卓球、バスケットボール、家庭婦人バレーボール、野球、ソフトボール他、公共施設は使用できず、主に学校などを使用。 (面積の違うテニスコート、トイレなし、壊れかけた卓球台 etc) |
| 80●日中平和友好条約調印 | ●結成2年後やっと亀山浩四郎氏を理事長を選出。 |
| 20●第2次石油危機 30●スリーマイル島原発事故 60●東京サミット開催 | ●初歩的な活動開始・・・ 区連盟から都連盟常任理事を派遣。江戸川、新宿、品川の区連盟を組織。 |
| 70●モスクワ五輪西側諸国ボイコット 90●イラン・イラク戦争勃発 | ●区民要求実現「秋の大運動」実行委員会に参加 社会体育指導員に任命(区非常勤職員)＝堀 同研修会(湯西川)に参加し、不透明な運営を公に指摘。 ●「第5回練馬区連盟総会」石神井庁舎 50名参加(3/3) |
| 12●都立光が丘公園が開園 | ●「月例マラソン」石神井公園1周1.75km(2/10) 参加者総数47人 三宝寺池は凍結していた。子供がおちる事件。 ●自治体交渉始まる：施設増設・改善・使用料の団体減免などその後、「社会体育団体」に認定。使用料の7割減免が実現する。 ●「第6回練馬区連盟総会」区立総合教育センター(3/29) |
| 50●フォークランド紛争 | ●「軟式テニス教室」開催(150人参加)＝高野台、その後2クラブを結成。 ●田場洋和氏を理事長に選出。 ●「第7回練馬区連盟総会」区立総合教育センター(3/28) |
| 6●光が丘公園 野球場、テニスコート、陸上競技場 利用開始 ●地下鉄有楽町線開通 90●大韓航空機事件 | ●サーバートテニスクラブが中心になり「硬式テニス教室」開催(約70人参加) テニス教室参加者がジャムホーステニスクラブを結成(84年) ●「硬式テニス大会」を開催(76ペア)参加 ●社会体育指導員に任命(区非常勤職員)＝徳野 ●「第24回練馬勤労者スポーツ祭典」実施種目：8種目 ●83年度連盟行事参加者総数：1,600人 ●民間を含め貧困なスポーツ施設の現状を調査、区行政の貧困を批判 ●「スポーツフェスティバル」秋ヶ瀬運動公園(40名参加) |
| | ●祭典から勤労者を外す論議。 (一般参加者、学生、クラブ参加をしにくくする理由から)問題点もあった。 区労協経由で区から受け取っている勤労者レクリエーション補助金が打ち切られる。 ☆労働戦線統一問題が全国的に展開・・・連盟も無関係ではなかった。 ●卓球、水泳、ランニング、太極拳などでクラブ組織化に取り組む。 ●通信「ねりまスポーツニュース」発行 ●「第9回練馬区連盟総会」区立総合教育センター(6/24) |
| | ●連盟は相対的に上昇期。 「山椒は小粒でもヒリリと辛い」揶揄する人もいたが・・・ 区連盟理事会としても、行事は盛況だが組織人員、クラブが出来ない事が悩みであった。 ●連盟や祭典の事業の年度未調整で施設が確保。 ●「硬式テニス教室」初開催(中村修プロコーチヘッド～1992その後は織井信行) ●田場洋和氏宅へ事務所移転。 ●「第10回練馬区連盟総会」区立総合体育館(6/9) |
| 40●チェルノブイリ原発事故 国鉄民営化 10●大空コート2面オープン ●田畑健介区長最終年 | ●区施設の「民間委託」化が全国的に、区連盟は、実態調査と対区交渉。 ●「勤労者」が外れ「練馬スポーツ祭典」として再出発。 「加盟クラブ拡大を求め地固め！困難を抱え、クラブ種目の活動が望まれる」と組織拡大を方針とした。(総会議案書より)同時に軟式テニスの競技人口の減少を指摘。 ●第1回「岩井テニスクャンプ」：78名参加(5/3～5) ●田田畑健介区長 都に対し都立光が丘公園内に 屋内運動施設(体育館・プール)建設要望書提出(10月) ●都立光が丘公園内に屋内運動施設(体育館・プール)建設2万人署名(11月) |



社会の動き・練馬区の動き

- 4●比丘コート2面オープン
- 4●区長選 本尾候補やぶれる

1987

- 6○リクルート事件
- 11○消費税強行採決

1988

- 1○昭和天皇崩御/平成に改元
- 6○天安門事件
- 11○ベルリンの壁撤去
- 庭球場利用申込方法、体育館での抽選方式からコンピューターでの抽選方式に

1989

- 上石神井体育館建設中
- 光が丘公園に体育館とプール、図書館建設予定
- 8○イラク、クウェート侵攻
- 9○株式市場暴落
- 10○東西ドイツ統一

1990

- 1○湾岸戦争勃発

1991

- 5○サッカーJリーグ開幕

1992

- 6○細川連立内閣スタート

1993

- 北海道沖地震 M7.8
- 細川首相誕生
- プロ野球FA制採用
- 羽田内閣に急遽変身
- 光が丘地区区民館開設
- 光が丘体育館開設
- 6○村山首班、連立内閣スタート

1994

- 1○阪神淡路大震災発生
- 地下鉄サリン事件
- 光が丘図書館開館

1995

練馬区連盟の活動

- 「スポーツは平和とともに」の目標が新たに！＝核廃絶運動
- 「第11回 連盟総会」総合体育館

- 「第3回練馬健康まつり」に参画（体力測定）1,500人参加
- 「第12回 連盟総会」

- 「第13回 連盟総会」勤労福祉会館（4月）
議案の要旨：スポーツ条件整備・連盟拡大などを振り返り、新しい連盟活動の体制を提案。
- 「スポーツ祭典20周年記念駅伝大会」開催（1/29）
- 通信「練馬スポーツニュース」発行
- 佐々木萬氏を理事長を選出。

- 種目ごとの協議会作りに着手～区連盟財政から種目補助で活性化。
- 「新春クラブ交流会」開催（1/20）
- 「第14回 連盟総会」（6/10）

- 練馬区連盟 15歳
連盟諸行事の参加者：4千人に接近、13クラブ、150人を擁する連盟に。
- 区庁舎を含む、練馬駅前再開発構想浮上。連盟は区が打ち出している「中、長期計画」の実現 署名運動を展開。
民主区長「もとお（本尾良）支持で区長選に組織参加。
- 「第4回 NERIMA CUP」
- 「テニス協議会結成」（10/5）（7クラブ）
ウィンテニスクラブ（25名） 1979年9月結成・加盟
ジャムホーステニスクラブ（35名） 1984年1月結成・加盟
パークテニスクラブ（6名） 1987年12月結成、1988年1月加盟
アルファータテニスクラブ（4名） 1990年12月結成、1991年1月加盟
TTC（10名） 1982年結成、1991年1月加盟
スターレッツテニスクラブ（10名） 1990年6月結成、1991年3月個人加盟
ステップアップ（6名）
運営委員13人選出（会長：戸島正巳、事務局：池田淑子、斉田常雄、江川照子、
会計：石井和子、梶山典代、
役員：木谷文子、谷昭俊、内藤康夫、熊谷和之、古田幸夫、堀木卓也、宮澤郁代
- 「テニス協議会結成記念大会」に79人参加（11/24）
- 「第15回 連盟総会」女性センター（7/14）

- 全国連盟総会にて名称変更を行うことを決定（2月）
- 「第16回 連盟総会」女性センター（8/9）

- 「スポーツ条件整備」に関する対区交渉
- 新体連の名称変更が提案される＝「スポーツ連盟」
- 再刊1号通信「フレイフレイねりま」発行（1/7）
～2001年4月（25周年記念講演）まで発行
- 「第17回 連盟総会」女性センター（7/25）

- 区連盟、6種目22クラブ、227人
- 卓球協議会結成に向けて取組。
- 光が丘陸上競技場の整備実現、陸連・走友会とともに・・・
- 「サッカーくじ」問題急浮上、連盟は討論集会（18人参加）
団体参加の呼びかけを進める。
- 「第1回テニス協議会総会」（4/9）
- 「第1回ウィークデイマッチ」開催
- 「第1回指導員要請講習会」開催
- 「第6回クラブ対抗団体戦」
- 「第8回 NERIMA CUP」
- 「第18回春季大会」
- 「第26回スポーツ祭典」
- 「第16回テニス教室」
- だから「サッカーくじ」はいらないシンポジウム
パネリスト：和食昭夫氏（9/29）
- 「第1回バドミントンフェスタ」開催（11/12）
- 「第18回 連盟総会」女性センター（4/24）

- 「第1回スポーツセミナー」：テーピングの実際（12/2）
- 「社会体育課（現：スポーツ振興課）」交渉が定着
- 「スポーツ祭典軟式野球大会」が復活
- 「第19回 連盟総会」総合体育館（4/15）



1996

- 大空テニスコート最終抽選日 (6/16)
- 大空署名 877 筆区議会事務局に提出 (9/28)
- 「第2回スポーツセミナー」：キネシオテープ、事故処理 (12/7)
- 「第20回 連盟総会」総合体育館 (4/13)

- 40消費税5%に引上げ
- 70香港、中国に返還

1997

- 「大空」テニスコート閉鎖＝署名・交渉を行うが地主、財政問題で再会も代替地も確保できず。
- 「第3回スポーツセミナー」：ストレッチとチューブトレーニング (3/15)
- 「練馬区卓球協議会」結成 会長：吉田巳蔵氏 (5/17)
- 「第4回スポーツセミナー」：スポーツマッサージ (11/15)
- プールの団体利用が復活する＝水泳フェスタに取り組む。
- 「第1回水泳記録会」開催：光が丘体育館 32人 (12/7)
- 「第21回 連盟総会」光が丘体育館 (4/6)

- 20長野冬季オリンピック開催
- 50サッカーくじ法案可決

1998

- 都連盟総会 (4/5)
種目組織の強化 テニス、水泳の種目組織は連盟費を駄句時に徴収
- 都テニス組織総会 (4/23)
連盟員1人30円の分担金を都テニス組織に納入を決定 練馬区連盟、祭典分担金50円、都種目分担金新設は実質の値上げ、組織形態の変更に疑義
- 「第5回スポーツセミナー」：筋肉の仕組みと正しい筋トレ (8/1)
- 98年度版練馬区連盟ハンドブック完成 (6月)
- 「第6回スポーツセミナー」：スポーツの心理 (11/21)
講師：西條日本体育大学教授
- 「第2回水泳記録会」：三原台 (12/6) 飛び込みに関する誓約書教育委員会に提出？台を設置しない？フロアーから飛び込みを実施
- 「サッカーくじ反対宣伝活動」練馬反対集会：女性センター (9月)
- 連盟行事参加者数3千名を越す！
- 「第22回 連盟総会」光が丘体育館 (4/12)

- 0サッカーくじ参院で強行採決
- 0男子失業率史上最悪=4.4%

1999

- 区連盟「ハンドブック」発行：好評
- 「秋の第1回合同合宿」ベルデ軽井沢：50人参加 (卓球、テニス、野球)
- マスコミは「なんと貧弱か！練馬区スポーツ振興予算16億 区民一人当たり430円。現在では更に後退」と指摘
- 「第23回総会」 (4/23)
- 「第7回スポーツセミナー」：救急救命法：光が丘体育館 (7/31)
(講師：光が丘消防署)
- 「第8回スポーツセミナー」：スポーツ現場における事故の原因と対処法
講師：スポーツプログラムス鈴木典和氏 (11月)
- 「第3回水泳記録会」大泉学園 144人参加 (12/12)

- 0国会で「日の丸・君が代」議案審議始まる。
- 60三宅島御山噴火

2000

- 「区スポーツ振興審議会」に連盟参加
「土地がない状況で正規の面積でなければならないのか？少し狭いテニスコートでは駄目なのか？」etc.に唖然とする。
- 練馬区2000年から3か年にわたり文部科学省の総合型地域スポーツクラブ育成モデル市区町村として補助を受け、SSCの育成を図る計画スタート。
- 「第24回 練馬区連盟総会」 (3/18)
- 「第9回スポーツセミナー」テーピングの理論と実技 (7/29)
講師：スポーツプログラムス伊藤博氏

- 40小泉内閣発足
- 90同時多発テロ事件発生
- 100米軍アフガニスタン侵攻開始

2001

- 「第25回 練馬区連盟総会」 (3/20)
総会記念講演「地域スポーツを考える」総合型地域スポーツクラブ構想について：講師一橋大学教授 関春南
区連盟総会で各種目の重点課題が確認。
⇒卓球協議会：運営の安定化・競技力向上・クラブ拡大
⇒バドミントン：連盟加盟クラブづくり・協議会設立
⇒水泳：97年から始まった記録会の充実・クラブ作りが、発展の契機を内包している種目。
- SSCが発足：全国初の試行政策。当面、主要体育館で準備始まる。
- 「第10回スポーツセミナー」：スポーツと栄養、水分補給 (8/4)
講師金子和弘氏 (大塚製薬)
- 10月11日号区報で2002年からの使用料の見直しを検討すると告知。
- 「使用料見直し」撤回陳情書提出 (12月)
- 本年2回目のスポーツ交渉 (清水課長、並木体育館館長) (11/5)



40完全週休2日制「ゆとり教育」

2002

練馬区連盟の活動

- 年間27行事実施＝参加者総計：4,320人
- 第2段 施設利用料値上げ問題討論集会
- 連盟ホームページ開設＋バドミントン、都連盟とリンク
- 「第26回総会」吉田巴蔵氏会長に就任（3/23）
- 「使用料見直し」撤回陳情署名841筆提出（1/12）
- 練馬区、3月施設使用料、スポーツ団体減免率改訂を提案
- 練馬区4月区立施設使用料の全面的ね見直し実施
- テニス協議会「ルール学習会」積極的に開催。
- 「第11回スポーツセミナー」：普通救命講習会
講師：光が丘消防署 20名取得（8/3）
- 「第1回着衣泳講習会」、長岡技術科学大学齋藤秀俊先生の協力で開始。（11/10）
- 7月スポーツ団体の減免を7割から5割に引き下げ実施
（その後の反対運動の中、04年3月まで実施延期となる。同時に施設が民間委託に、丸ごと運営も委託に移行。⇒企業委託にはなっていない。板橋みたいなのは取らないと。）

30米英軍イラク攻撃開始

2003

- 連盟組織の組織図・連盟費（分担金・募金含む）論議がと連盟との間で始まるが、今日もなお組織図は一致していない。
- 「第27回総会」光が丘体育館（3/22）
- 練馬高校テニスコート的一般開放（生涯学習会課より通知）（3/25）
- イラク戦争に反対するスポーツマンの集い：東京都体育館研修室（4/2）
- ハンドブック発行（5月）
- 着衣泳指導員資格2名取得：長岡技術科学大学（6月）
- 「第7回水泳記録会」
ロングディスタンス（200m,400m,800m,1500m）記録会に変更
- 「第12回スポーツセミナー」：競技前ウォームアップ・現場で応急処置、テーピング、アフターケア
講師：木村鉄哉氏（スポーツプログラムス）鈴木哲也（元日本通運野球部トレーナー）（8/2）
- 都連盟第40回臨時総会（規約改正）（9/6）
- 「スポーツ条件を整える」要望書提出（12月）

100自衛隊イラク派遣開始
120スマトラ沖地震発生

2004

- 研修旅行：秩父と銅鉾泉（1/17・18）
- 施設利用がコンピュータシステムに移行⇒以後問題引きずる。⇒使いにづらい、PCのない人は？利用時間に制限がある etc..
- スポーツ振興課懇談会「委託民営化」について（3/10）
- 「第28回総会」光が丘体育館（3/20）
- 着衣泳、記録会を5月に実施に変更（5/9）
⇒着衣泳講習会が注目を集める。（着衣泳とは普通の服装で落水した時、水難に遭った時に科学的な救助方法。
新潟、長岡科学技術大学齋藤秀俊教授の推奨による講義を開催、今年で3回目。
⇒三原台かめのごSCから指導員資格保持者である。
- 練馬野球祭典より「剛球会」全国祭典に派遣。
- 第13回スポーツセミナー：光が丘屋外と屋内で実施（7/31）
「スポーツとストレッチ、トレーニング」講師：小平豊海氏 スポーツプログラムス
- 新潟中越地震募金送金 47,000円（卓球2万、水泳2万、その他）

2005

- 区民の公共サービスが後退⇒IT化、民間委託化 etc..
- 新潟信越大震災発生 支援活動に取り組む
- スポーツセミナー「AED講習会」資格取得20人
- 「バドミントン協議会」結成＝櫻井 匠会長
- スポーツ施設新設、利用条件整備等の対区交渉
- 豊玉・中村橋地区体育館新設決まる＝内容不明＝要望提出
- 研修会：秩父中津川峡谷（1/9・10）
「地方財政と危機と地域スポーツの今後」伊賀野明（都連盟理事長）
- 「第29回総会」（3/26）
- 第4回着衣泳将来救急救命の仕事に就く学生50人が申込（5/8）
- 新日本スポーツ連盟全国連盟創立40周年記念講演&レセプション
：アルカディア市ヶ谷（11/12）

社会の動き・練馬区の動き

練馬区連盟の活動

○安倍内閣誕生 = 途端に憲法改悪、教育基本法を巡り、世論を騒がせる
憲法9条の見直しは世界史をゆるがせる
○北朝鮮核実験を強行
○非行、いじめと自殺問題・未履修問題が社会的に広がる

2006

- 第30回総会 (3/25)
- 理事会レジュメ、記録名『飛躍』
- 卓球、バドミントン、テニスの活動が旺盛
- スポーツ振興課懇談会 (6/1)
- 練馬区創立30周年記念日 (6/20)
- 久しぶりに新チームを迎えたソフトボール大会。
- 30周年記念レセプション：区役所レストラン (11/18)

40サブプライムローン問題
金融不安発生

2007

- 第31回総会 (3/24)
- 理事会レジュメ、議事録名『歩走跳』
- スポーツ振興課懇談会 (6月)
- 第13回スポーツセミナー「AEDと心肺蘇生」光が丘消防署 (12/8)

2008

- 第32回総会：光が丘体育館 (3/29)
- 理事会レジュメ、記録名『地域スポーツの息吹き』
- スポーツ振興課懇談会 (7/16)

90民主党鳩山内閣発足

2009

- 堀美臣副理事長在任中に死去 (3/8)
- 第33回総会 (3/14)
- 総会開催を2年に1回開催に変更
- 担当がいなくなった種目野球については参加チームが運営。(規模を縮小)ソフトボール、ソフトテニスでは中止にする。

2010

- 都連盟理事長名で「第15回東京反核平和マラソン」への協力願いが志村豊志郎練馬区長宛に提出。(4/22)
- 光が丘地域の学校跡地施設の団体利用 (2010,2011年) 提供。
- スポーツ振興課懇談会 (6/29)
- 東京反核平和マラソン西コース (杉並、練馬、中野) (7/24) 新設に伴い練馬区連盟協力 (給水の2箇所)
- 2012年度事業計画スケジュール調整かなり綿密にメールでやり取りを行う。

20ニュージーランド地震発生
30東日本大震災

2011

- 都連盟総会 (3/12)、震災で5月7日に変更
- 5月よりスポーツ施設の使用時間を通常に戻すという通達 (「但し夏夏の夜間使用は除く、又、不測の事態によっては変更の可能性有りのコメント付き)
- 第34回総会 (5/21)
- スポーツ振興課懇談会 (7/26)
- 東日本大震災の被災者に対し「私たちができること」2011年度全競技大会の参加費の一部を募金にする事を決定、実施。
- 軟式野球大会中止止む終えないから審判の上野氏助け舟1DAY大会を提案実施。

2012

- 東日本大震災義援金710,100円を日赤に送金。(4/2)
- 区連盟連盟、協議会費の連盟費の比率を35円：30円⇒20円：45円に変更、又大会分相金を収入の10%⇒5%に変更し、種目に厚くする。
- 練馬区連盟事務所を田柄から氷川台 (吉田理事長宅) に変更 (4月)

2013

- 第35回総会 (5/26)
- スポーツ振興課懇談会 (7/24)
- 区各施設 (大会開催施設) の防災マニュアルを提供。種目担当者に通知。
- 都連盟第3回ゆりかもめリレーマラソンに協力 (11月)

2014

- 全国連盟総会にて「スポーツのひろば」450円から290円に改訂し購読を広げる方針。(3月)
- スポーツ傷害保険一括契約開始
- 区連盟ホームページリニューアル、アドレスの変更、デザイン変更。
- スポーツ振興課懇談会 (7/22) (4月、オープンした松の風コート設計ミスについて指摘) (高野台運動場の野球ボールのテニスコートに飛んでくる危険について改善策を要求)
- NJSFスポーツ科学研究所設立 (11月)

3/29●第1回練馬こぶしハーフマラソン
○国際サッカー連盟 (FIFA) 幹部賄賂問題
○組織ぐるみのロシア陸上競技連盟ドーピング隠蔽工作
○プロ野球賭博事件
○2020東京五輪エンブレム国立競技場当初案白紙撤回
100スポーツ庁発足

2015

- 第36回総会 (5/30)
- 新日本スポーツ連盟結成50年 (11月) (クラブ表彰：三原かめのか、ウィンテニスクラブ、ジャムホーステニスクラブ)
- スポーツ振興課懇談会 (7/21)

新日本スポーツ連盟練馬区連盟

理事長 吉田巳蔵

事務局 江川照子

eメール : t-egawa@jcom.home.ne.jp

携帯 : 080-1049-1112

★お断り★

区連盟議案書と歴史的資料に基づいてこの年表を作りましたが、部分的には差異があったり欠落しているところもあるかとおもいます。間違いや欠落部分にお気づきの際は、事務局へのご指摘をいただければ幸いです。皆様のご協力により完璧な年表を完成させたいと思います。
